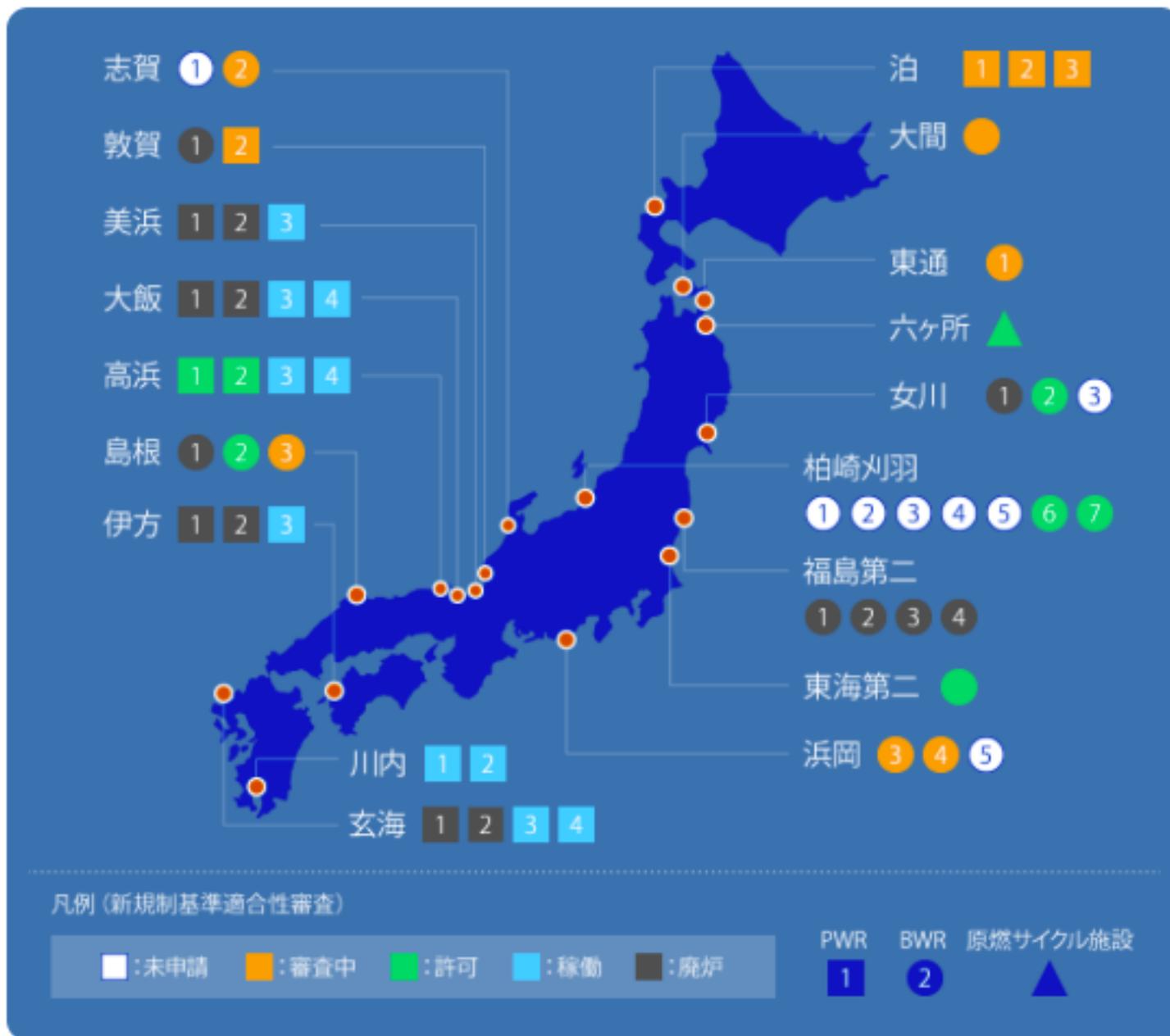


# 日本の原子力発電の現状と これからのあるべき方向性

澤田哲生

# 日本の原子力の現状

**現在稼働中(7基)：** 関西電力大飯3・4号機と高浜3号機、九州電力玄海4号機と川内1・2号機、四国電力伊方3号機  
 美浜3号機－停止中。テロ対策施設の工事が期限に間に合わないため。施設は来年9月ごろに完成予定。10月中旬に運転再開する見込み。  
 高浜4号機-2022年6月8日から約5カ月定期検査の予定  
 玄海3号機-2022年1月21日～2023年1月20日まで定期検査・テロ対策施設工事



# 原子力が停まっている理由

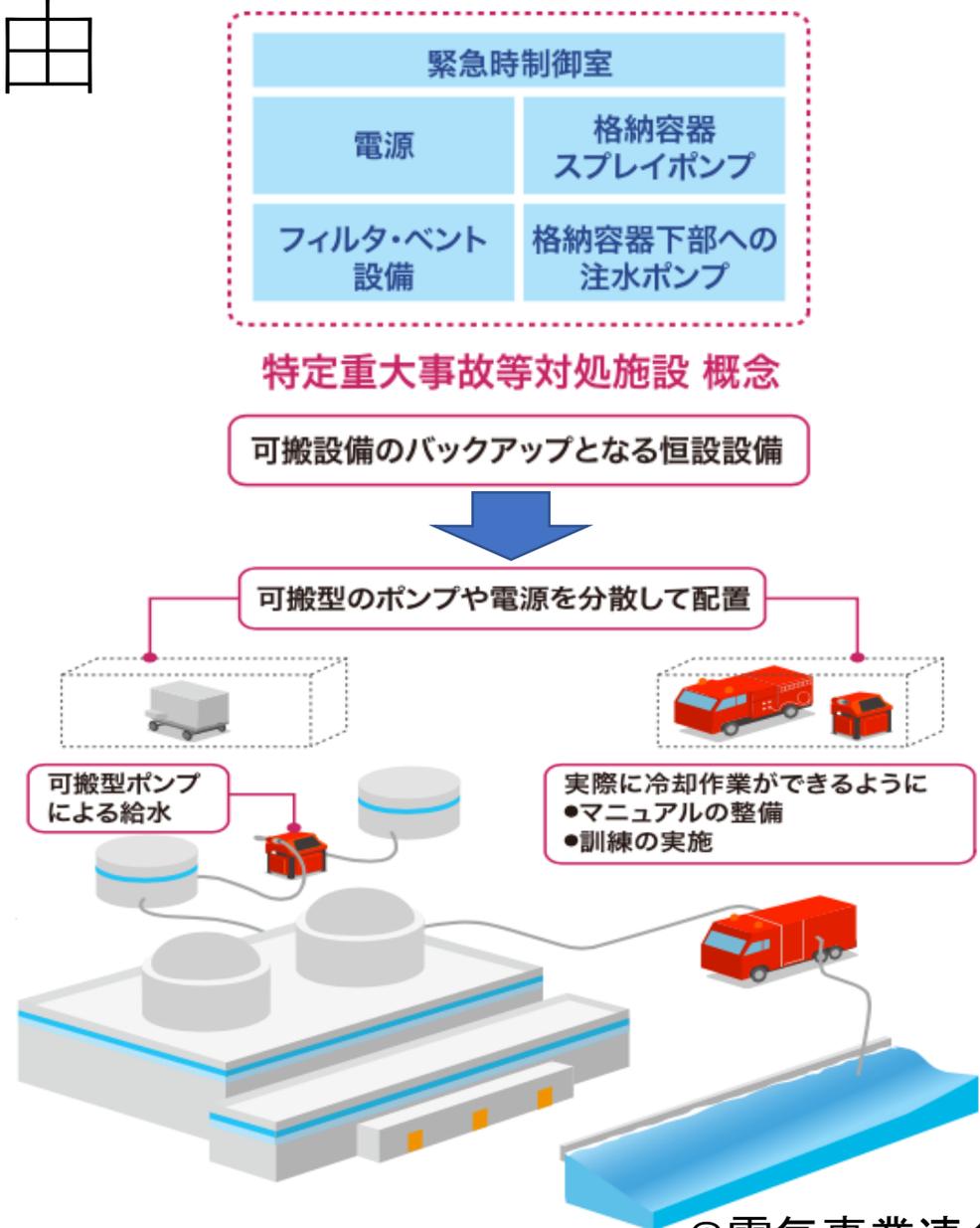
① 適合性審査でなかなか“合格”が得られない

- 基準地震動が定まらない
- 活断層問題
- その他

② “合格”が得られてもなかなか稼働できない

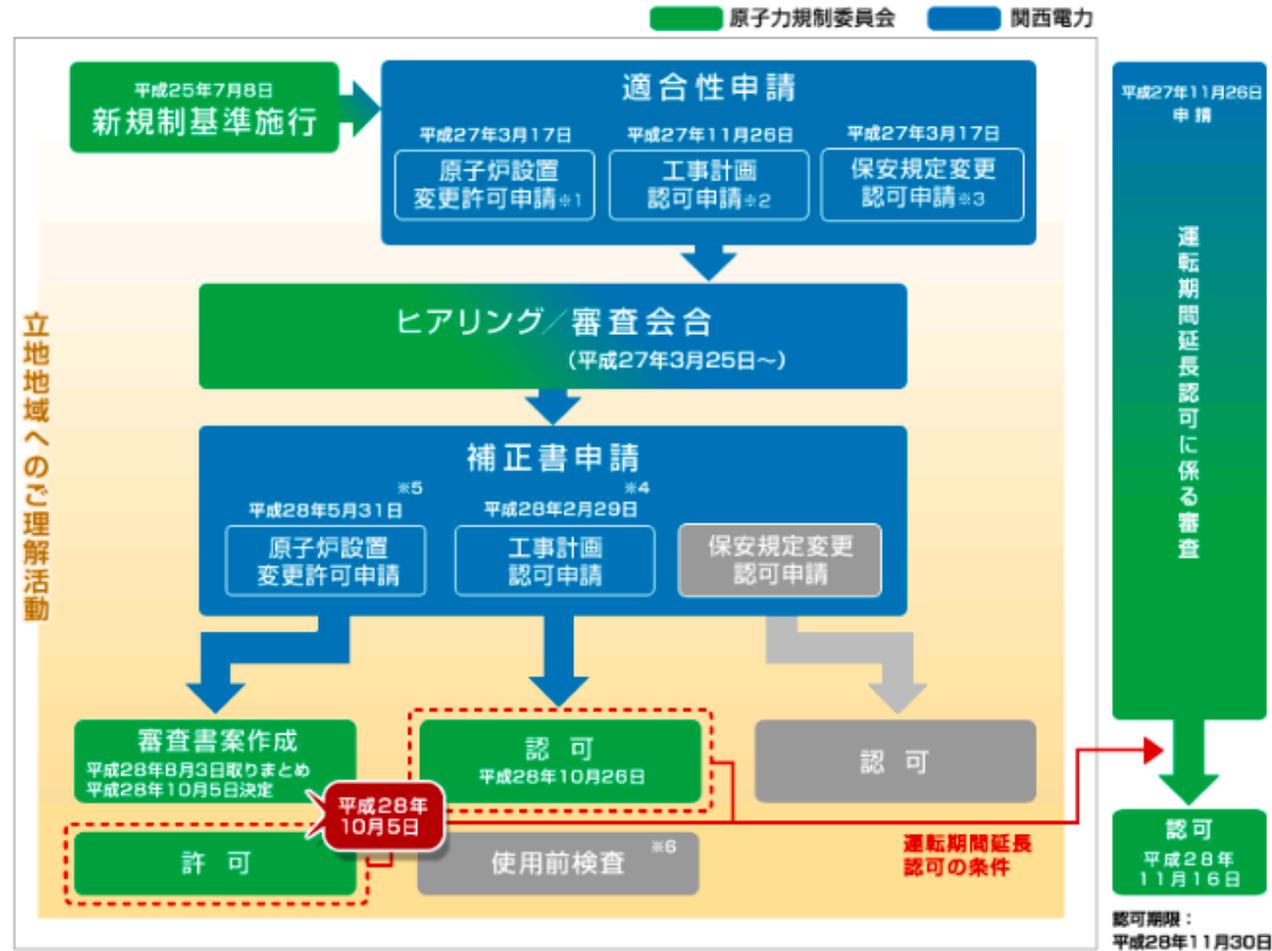
- 追加的安全対策が間に合わない
- テロ対策(特定重大事故等対処施設の設置)の遅れ
- その他

## テロ対策



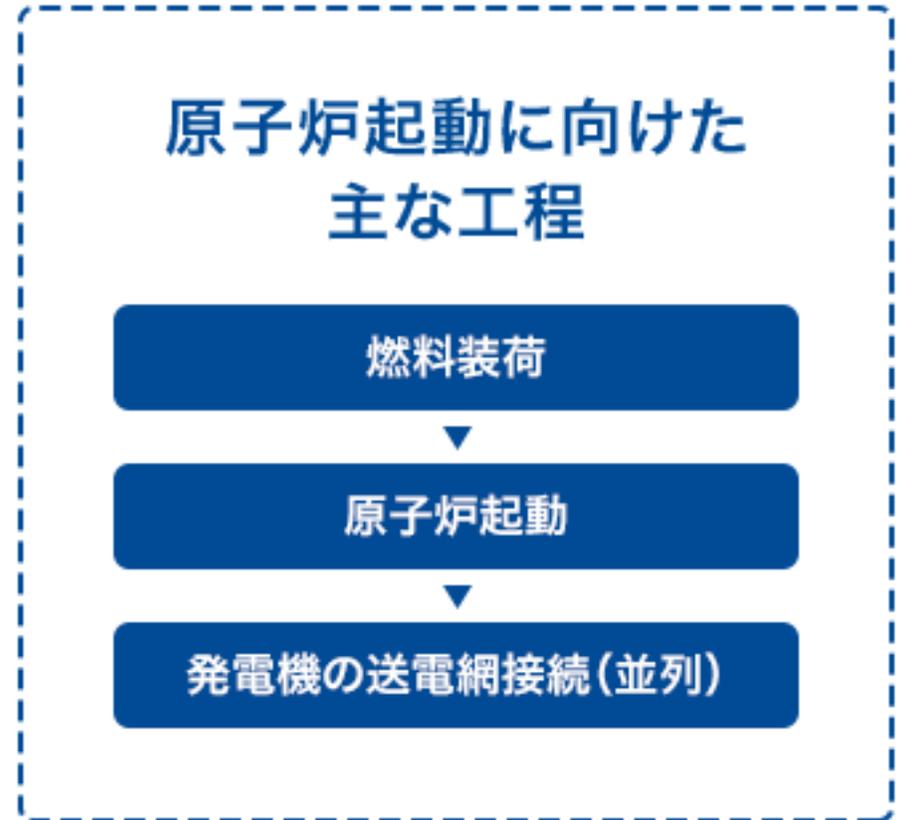
# 再稼働までの段取り

審査の流れ



再稼働

©関西電力



# 原子力が停まっている理由

## • 適合性審査に合格しても原子炉が停まっている理由

- 1) 実際に動かすまでに1年ほどかかる
- 2) 定期点検
- 3) テロ対策工事が間に合わない
- 4) 地元の了解が得られていない

2022年8月1日時点で稼働している原子力発電所は7基。関電大飯3・4号機、九電玄海4号機と川内1・2号機、四電伊方3号機。

# 続き

## 1. 一旦再稼働はしたが現在停止中の原子力発電所

- 玄海3号機——2022年1月21日～2023年1月20日まで定期検査・テロ対策施設工事
- 美浜3号機——**現在**停止中。設置を義務付けられているテロ対策施設の工事が期限に間に合わないため。施設は来年9月ごろに完成予定で、同10月中旬に運転再開の見込みである。
- 高浜4号機——2022年6月8日から約5カ月定期検査の予定である。

## 2. 現在稼働しているがもうすぐ停止する原子力発電所

- 玄海4号機——2022年9月中旬から23年2月下旬の間、テロ対策施設工事のため停止予定。

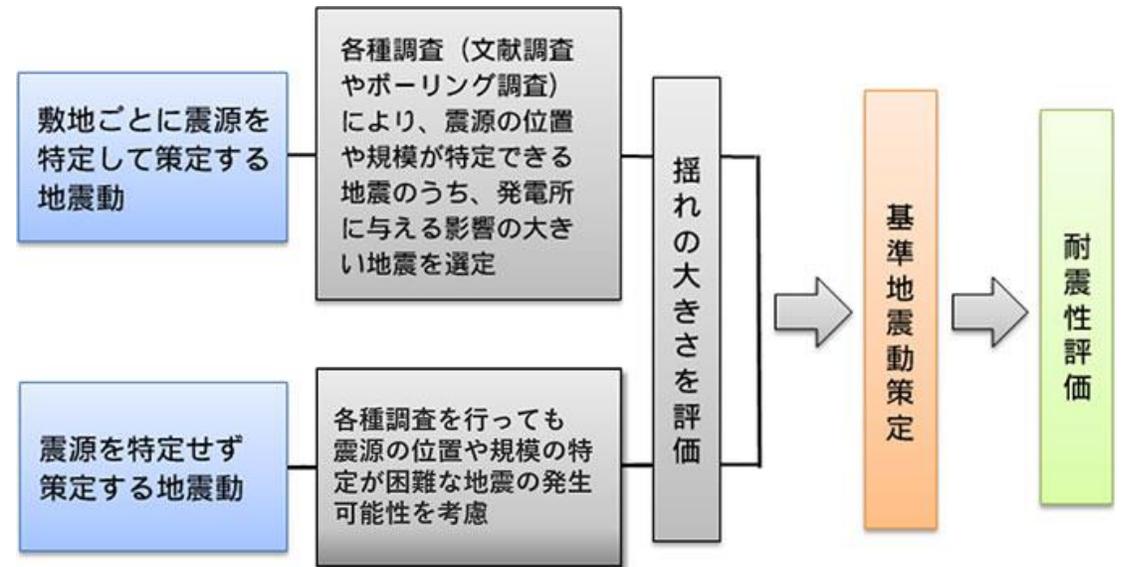
## 3. 合格&地元も了解→再稼働に向けて動いている発電所

- 女川2号機
- 島根2号機
- 4. その他、合格はしたが・・・
- 柏崎刈羽6・7号機
- 東海第二発電所

# 規制の問題点

- 科学的・技術的側面—悪魔の証明、神学論争

- 基準地震動（震源を特定せず策定する地震動＝凄過ぎる“発明”）
- 活断層問題（仮想活断層！）
- 津波対策
- テロ対策
- ...

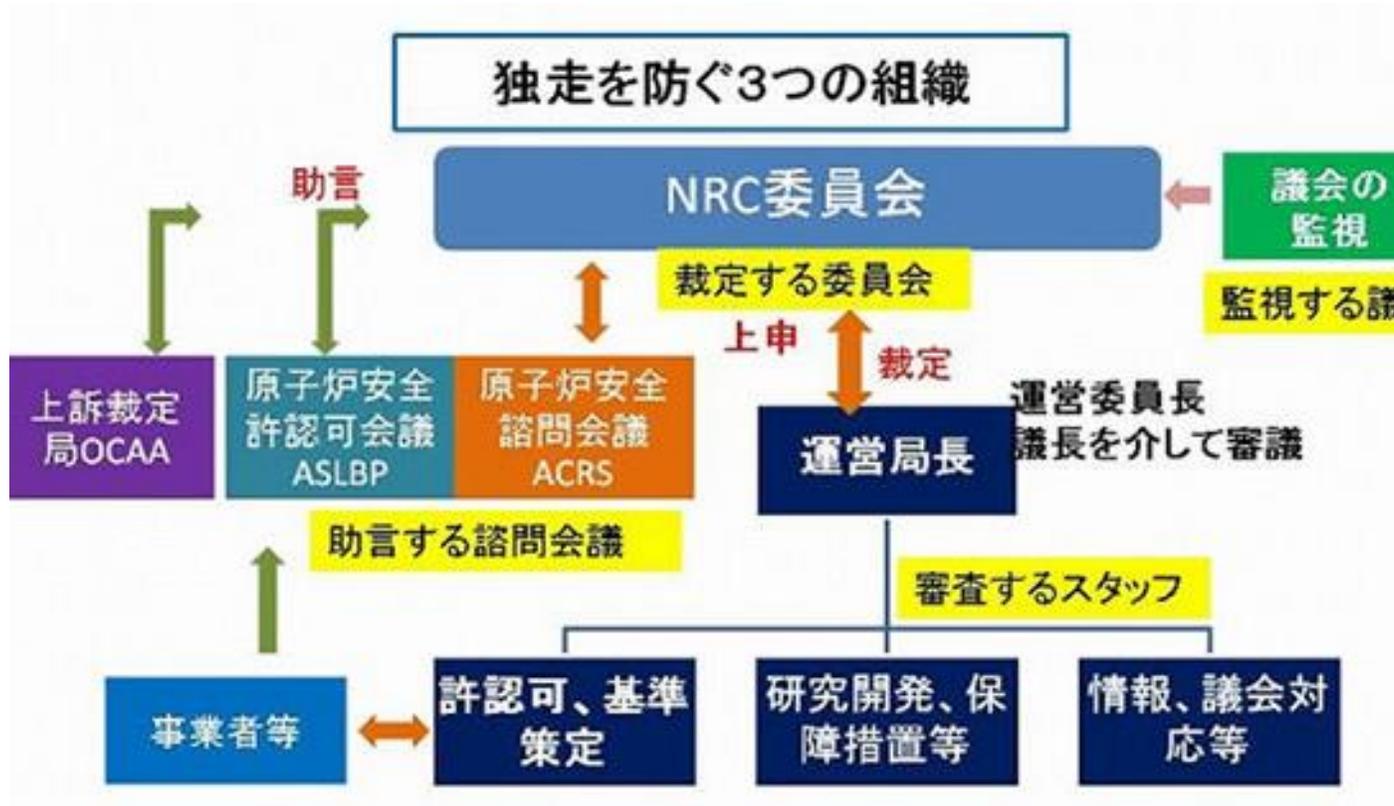


- 制度的欠陥

- 監視・助言機関が欠落—米国NRCとの対比

©北海道電力

# 米国NRC：健全なる規制



• NRCでは、委員会の決定に当たり、左図に示されているように技術的問題に関しては原子炉安全諮問会議（ACRS）、許認可手続きについては原子炉安全許認可会議（ASLBP）、法律問題については上訴裁定局（OCAA）の3つの組織に答申を考慮することが義務付けられており、NRC委員は恣意的な決定はできないようになっている

（伊藤他、「日本の原子力規制は米国NRCに学べ」アゴラ 2014.09.26）

# これからの原子力政策の在り方

- 規制改革—政治は3年目の見直しを真っ当にやるべし
  - 制度改革
  - 人の問題
    - ・ ・ ・ リベンジ規制からの正常化
- DX /GX遂行には原子力は不可欠
  - エネルギー基本計画
    - “原子力への依存度を限りなく低下、からの脱却
    - 新型炉の新設・リプレース
  - 原子力長期計画→復活

# 敦賀第2原子力発電所一破砕帯



©朝日新聞デジタル



©デイリー東北

# 偽「活断層」、事件、東大佐藤比呂志教授

2014年



「立川断層」の掘削調査で見つかった  
コンクリートとみられる塊（白い矢  
印）。「横ずれ断層」に特徴的な凝灰  
岩と見誤った=共同

東大地震研が謝罪「断層ではなかった」



そもそも断層でもなんでもないコン  
クリート片

[https://www.nikkei.com/article/DGXNASGG2802R\\_Y3A320C100000/?unlock=1](https://www.nikkei.com/article/DGXNASGG2802R_Y3A320C100000/?unlock=1)